

広島地区活性化に向け「共創プロジェクト」を始動

丸亀市では、新たに讃岐広島・小手島・手島活性化協議会と（株）トリドールホールディングスと連携し、広島の活性化への取組みを進めていく「三つの島の未来航路 共創プロジェクト」を開始いたしました。

プロジェクトを始めるにあたり、10月21日には、（株）トリドールホールディングスの栗田社長様にも讃岐広島にご訪問いただき、讃岐広島・小手島・手島活性化協議会の白賀会長様はじめ三島の関係者の皆様らを交えて結団式を行いました。

このプロジェクトは、今年度から令和6年度までの3年間で島の魅力創出や発信強化に取り組んでいくもので、（株）トリドールホールディングス様から企業版ふるさと納税として5,500万円のご寄附をいただき、今年度の取組みとして広島江の浦港待合所の改修を予定しています。現在の待合所に、屋外テラスや展望デッキ、カフェなどを増設して、観光客をおもてなしする機能を充実するとともに、日本遺産と地域資源による産業・観光の振興、移住・交流の推進と未来を繋ぐ後継者の育成と目標を掲げ、順次取組みを進めていくこととしています。

島を取り巻く環境は人口減少や高齢化により厳しい状況に直面していますが、これらの取組みにより塩飽諸島さらには、丸亀市全体の活性化と魅力向上に結び付けたいと考えています。



令和4年10月24日

丸亀市長 松永 恭二